



2019年 3月期 第2四半期 決算ハイライト

ティアック株式会社

<https://www.teac.co.jp/jp/>

証券コード6803

2018年11月8日

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2019年3月期 第2四半期決算 ハイライト

単位：百万円	前年同期	当第2四半期 累計期間	増減
売上収益	7,816	7,040	▲ 776
営業利益（▲損失）	▲ 318	3	+ 321
親会社の所有者に帰属する当期利益（▲損失）	▲ 453	▲ 441	+ 12
資本合計	333	671	+ 338

■ 売上収益

- 前年同期の情報機器の大型受注案件が当連結累計期間はなかったこと、およびその他セグメントの売上収益の減少により、全体として▲7.8億円の減収

■ 営業利益

- 引き続き売上総利益率の改善、前期に実施した固定費削減等の損益分岐点低減施策の効果、また介護記録システム事業の譲渡（2018年5月8日開示）による譲渡益2.9億円の計上も加わり営業黒字

■ 親会社の所有者に帰属する当期利益

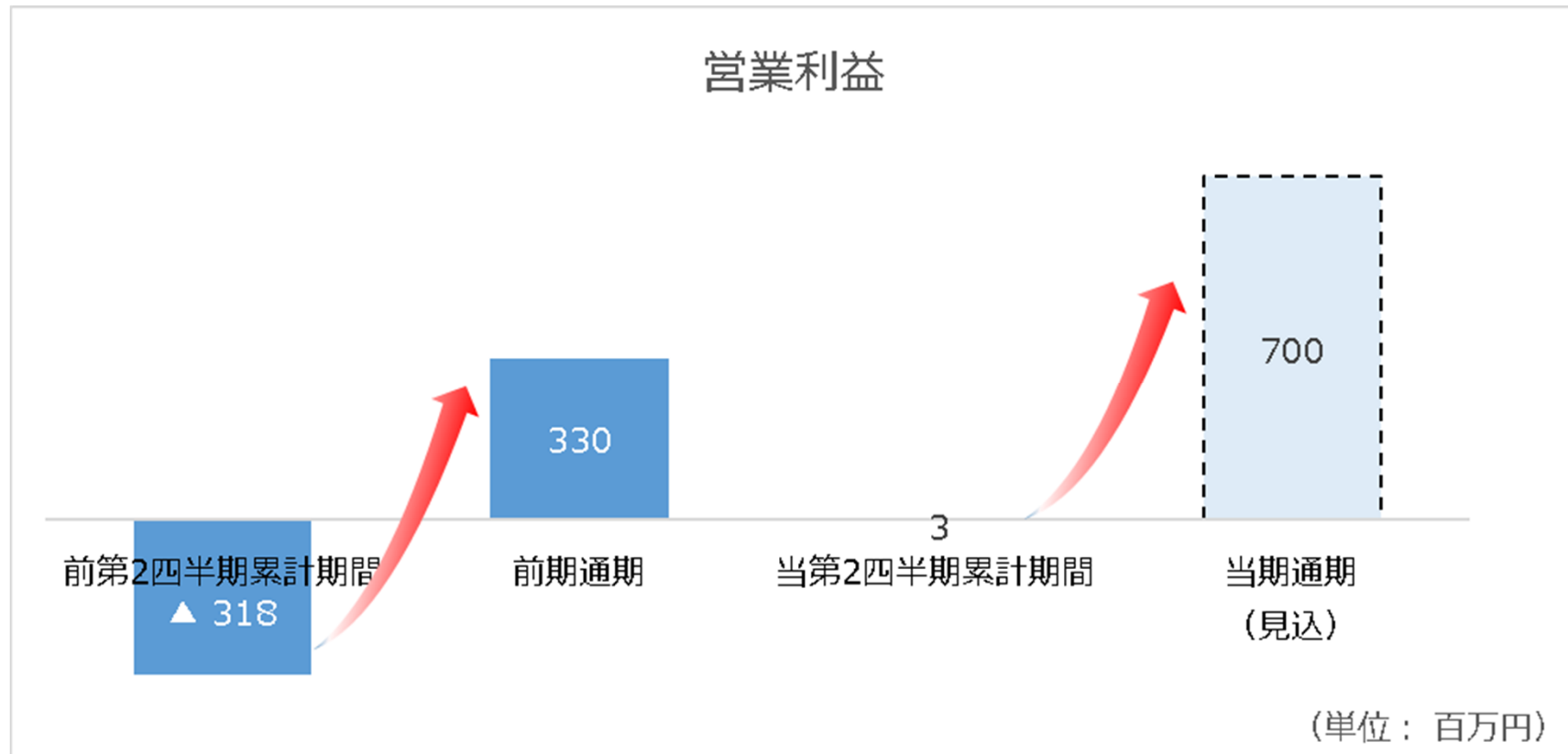
- 営業利益は大幅に改善したものの、為替差損の発生により親会社の所有者に帰属する当期利益（損失）は若干の改善に留まった

■ 資本合計（純資産）

- 前年同期末に3.3億円であった資本合計（純資産）は当第2四半期末は6.7億円と3.4億円増加

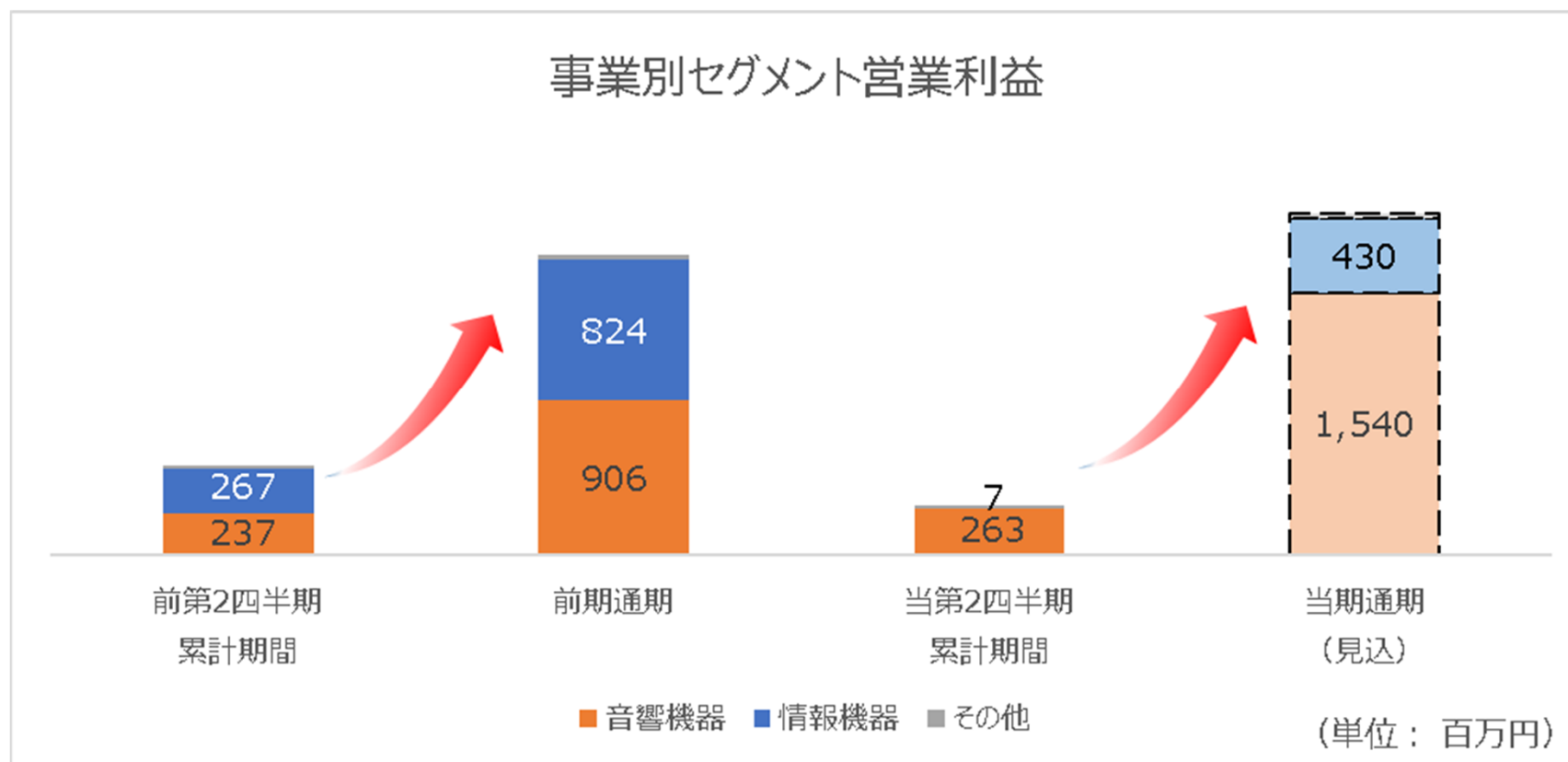
営業利益

- 営業利益：減収となったものの、前期に実施した損益分岐点低減施策、介護記録システム事業の譲渡の益により営業利益は大幅改善し、第2四半期累計期間で黒字化。

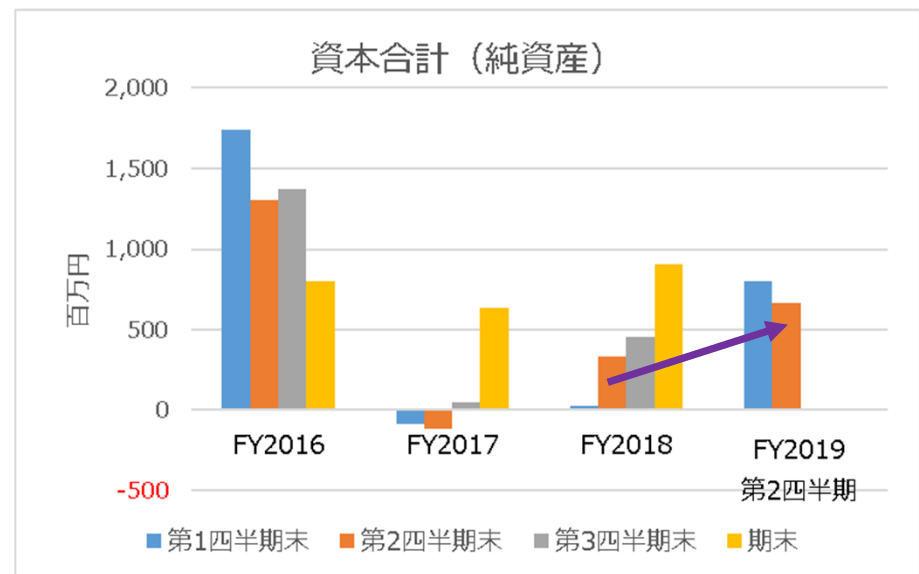
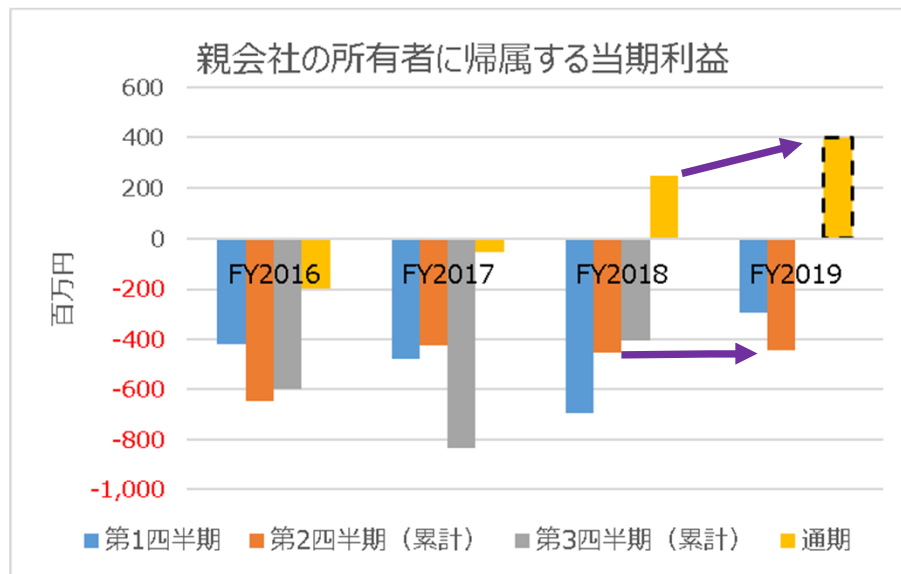
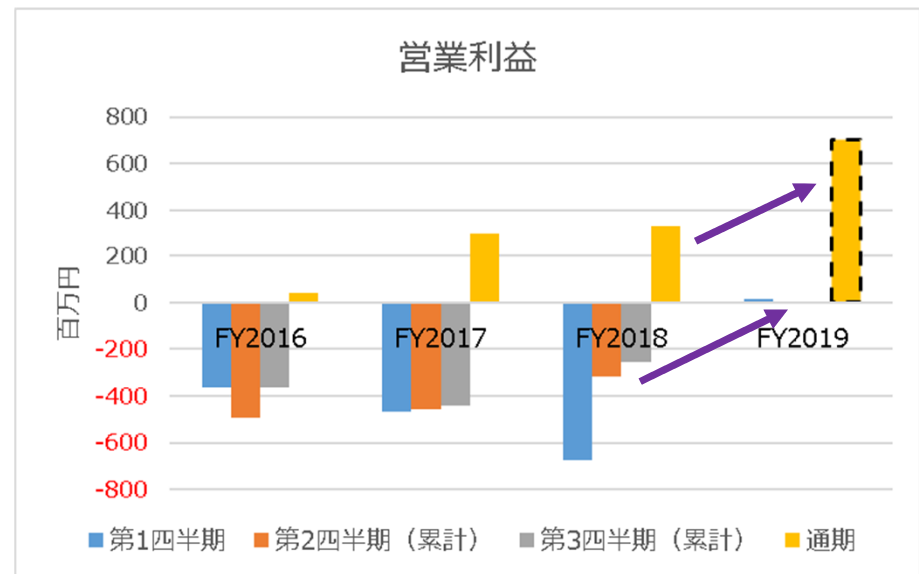
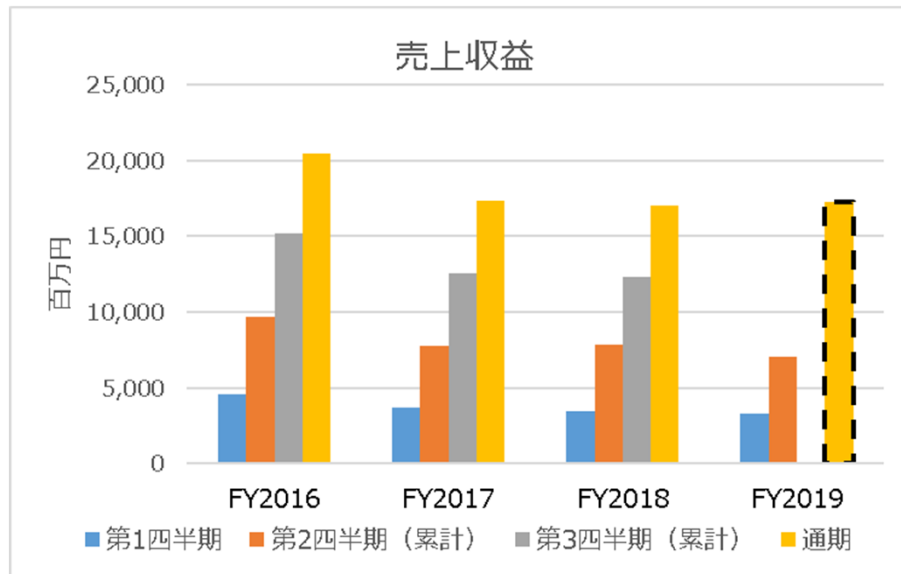


事業別セグメント営業利益

- 音響機器： 減収となったが、売上総利益率の改善、固定費削減等によりセグメント営業利益は増益。通期でBtoB事業へのシフトを加速させ、増益を見込む。
- 情報機器： 減収によりセグメント営業利益は減益。前期は複数の大型プロジェクトによる増益があったが、当期通期は保守的に減益を見込む。



売上高、営業利益、親会社の所有者に帰属する当期利益、資本合計推移



トピックス 1

■ 音楽制作・業務用オーディオ機器 TASCAM

TASCAMブランドは、2018年8月に新しいキャッチフレーズとブランドビデオを公開いたしました。それにあわせWEBサイトもリニューアルいたしました。TASCAMは、これまで以上に音にまつわる産業や人々へ、音のプロフェッショナルとしてより良いソリューションを提供していくために、これからTASCAMが目指すべきビジョン、価値を見直し新たなブランドガイドラインを策定いたしました。新たなキャッチフレーズとこれからのTASCAMを象徴するブランドビデオは、それを体現したものです。

新キャッチフレーズ

Sound. Thinking.

TASCAMの新キャッチフレーズ『Sound. Thinking.』には、録音・再生、音声、音楽など、あらゆる社会の「音」について真摯に向き合い、こだわり、考えるブランドであるという意味合いが込められています。

【代表取締役社長 英裕治からのコメント】

「TASCAMは1971年にブランドが誕生して以来、世界中の録音と再生に関わる人々を支え、音に関する文化に大きく貢献して参りました。録音と再生のプロフェッショナルであるという自負は、TASCAMを成長させる糧であり、責任であると考えています。この度、新しいキャッチフレーズ『Sound. Thinking.』を策定するに当たり、改めてブランドのコアとなる価値を見直しました。TASCAM はこれからも、世界中のあらゆるシーンで音を扱う人の録音・再生へのニーズに対して高い品質、耐久性を提供することにより、彼らのパフォーマンスを最大限に発揮させるために、TASCAMだからこそ実現できる、音響に関わるトータルソリューションを提供して参ります。これからのTASCAMにどうぞご期待ください。」



TASCAMブランドビデオ

<https://tascam.jp/jp/contents/about>

トピックス 2

■ 音楽制作・業務用オーディオ機器 TASCAM

24トラックライブレコーディングミキサー『Model 24』を2018年8月に発表いたしました。

- The Classics, Reborn -

デジタルレコーディング規格DTRS搭載のデジタル8トラックレコーダーDA-88やポータブル型マルチトラックレコーダーPORTASTUDIOシリーズなど、革新的な製品で常に先進的なレコーディングソリューションを提供してきたTASCAMが、この度、長年培ってきた高度な録音技術と最新のオーディオ技術を融合させ、24トラックライブレコーディングミキサー『Model 24』を開発いたしました。

『Model 24』は、マルチトラックレコーダー、ミキサー、オーディオインターフェースとして、ライブ、リハーサル、レコーディング等のあらゆる場面で柔軟に対応し、今日のミュージシャンやエンジニアなどの多様なニーズを満たす新たなレコーディングソリューションです。

8月の発表以来、発売前にも関わらず、エンジニアやミュージシャンから「ライブPAでの同録レコーディングに最適」、「TASCAMから待望のレコーディングミキサーが出た」等、大きな話題となっております。



TASCAM Model 24 紹介ビデオ
<https://youtu.be/0csDtFI6AJ8>

トピックス 3

■ 高級オーディオ機器 ESOTERIC



SACDプレーヤー『K-05Xs』

ESOTERICの人気SACDプレーヤー、Kシリーズの新機種『K-05Xs』を2018年8月より販売開始いたしました。

K-05は、スーパーオーディオCDプレーヤーの銘機K-01、K-03 に連なる「K シリーズ」の中核モデルです。初代モデルが2011年に登場し、2015年にはK-05Xへと進化。その唯一無比のコンストラクションで世界の名だたるハイエンドブランドも採用するVRDS-NEOスーパーオーディオCDトランスポートメカニズムや、優れたオーディオ性能が高く評価され、このモデルにしかない豊かな個性と気品に溢れた音楽表現力も相まって、瞬く間にベストセラーモデルへ躍進しました。3世代目となるK-05Xsは、ESOTERICのフラッグシップモデルGrandioso K1の凝縮モデルとも言える特別なモデルです。

■ 情報機器 TEAC



手術映像管理・編集システム『SURGE ONE v2』

手術映像管理・編集システム『SURGE ONE v2』を2018年5月に販売開始いたしました。

『SURGE ONE v2』(サージワンブイツー)は、ティアックのメディカルビデオレコーダー『UR-4MD』から転送された手術動画・静止画をNAS(Network attached server)などのストレージで一元管理します。院内の手術動画・静止画が簡単な操作で一元管理でき、カンファレンスでの説明や学会発表のための動画編集作業、医局での動画管理作業などを効率化します。